

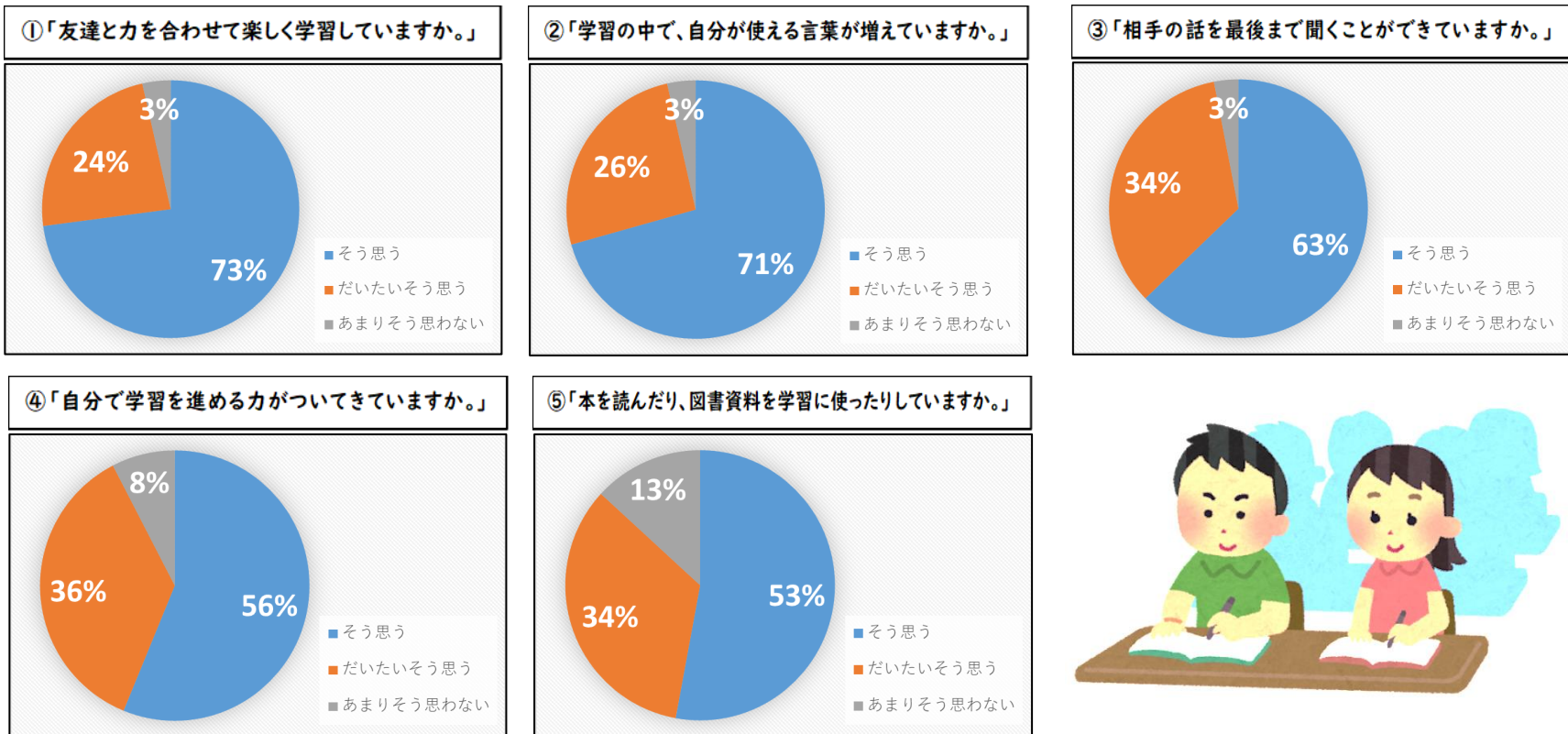
令和6年度 前期教育アンケート結果のご報告

前期教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。それらの結果を報告させていただきます。回答総数は355件で84%の保護者の方がご協力くださいました。この結果から見えてきたことを活かして、よりよい教育を目指していきたいと考えています。今後ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 「確かな学力」の育成に向けて

重点目標 自分で学びを進める力を育成し、友達と高めあう授業研究を行い、学力向上につなげる。

児童



成果

多くの児童が「友達と力を合わせて楽しく学習していますか」という質問に対して「そうおもう」と回答しており、協力的な学習環境が形成されていることが宇多野小学校の子どもたちの強みだと言えます。昨年度に引き続き「学習や生活の中で、自分が使える言葉が増えていますか」という質問でも、多くの児童が肯定的な回答をしており、言語能力の向上が見られます。引き続き言葉を大事にした教育を進めていきます。「相手の話を最後まで聞くことができますか」という質問に対しても、肯定的な回答が多く、コミュニケーション能力の向上が期待されます。人権教育として「人の話をしっかりと聞くことは、人を大切にすることの第一歩」という考えは昨年度からも変わっておりません。「相手が伝えようとしていることは何か。」「この言い方で相手に伝わるかな」と、受け取る側と伝える側、双方の相手意識を大切にすることをこれからも指導していきます。

改善点

「自分で学習を進める力がついてきますか」という質問では、あまり肯定的でない回答も見受けられます。学校では、今年度も育成を目指す力として「自分で学びを進める力」を設定し、授業の研究を重ねています。授業と連動した家庭学習に取り組むことで、主体的に授業に取り組むことができる児童が増えてきました。また、興味や関心のあること、疑問をもっていることに対して、自分で調べて課題解決を図る自主学習の取組も進めています。児童の自主学習ノートを教室に掲示したり、紹介したりしています。一朝一夕にはいきませんが、生涯学習を念頭におくと、何歳になっても興味あることに向かい、知的に人生を豊かに過ごしてほしいと願っています。引き続き、ご家庭での励ましやアドバイス等、ご協力をよろしくお願いいたします。

「本を読んだり、図書資料を学習に使ったりしていますか」という質問に対する回答が分かれていました。学校では、月水金の朝10分間、読書タイムを設定しています。また、図書ボランティアさんによる読み聞かせもしていただいています。読書を通して、新たな知識を身につけたりして、日頃つかわない言葉や表現にふれてほしいと思います。その他、図書資料の使い方も学んでいます。

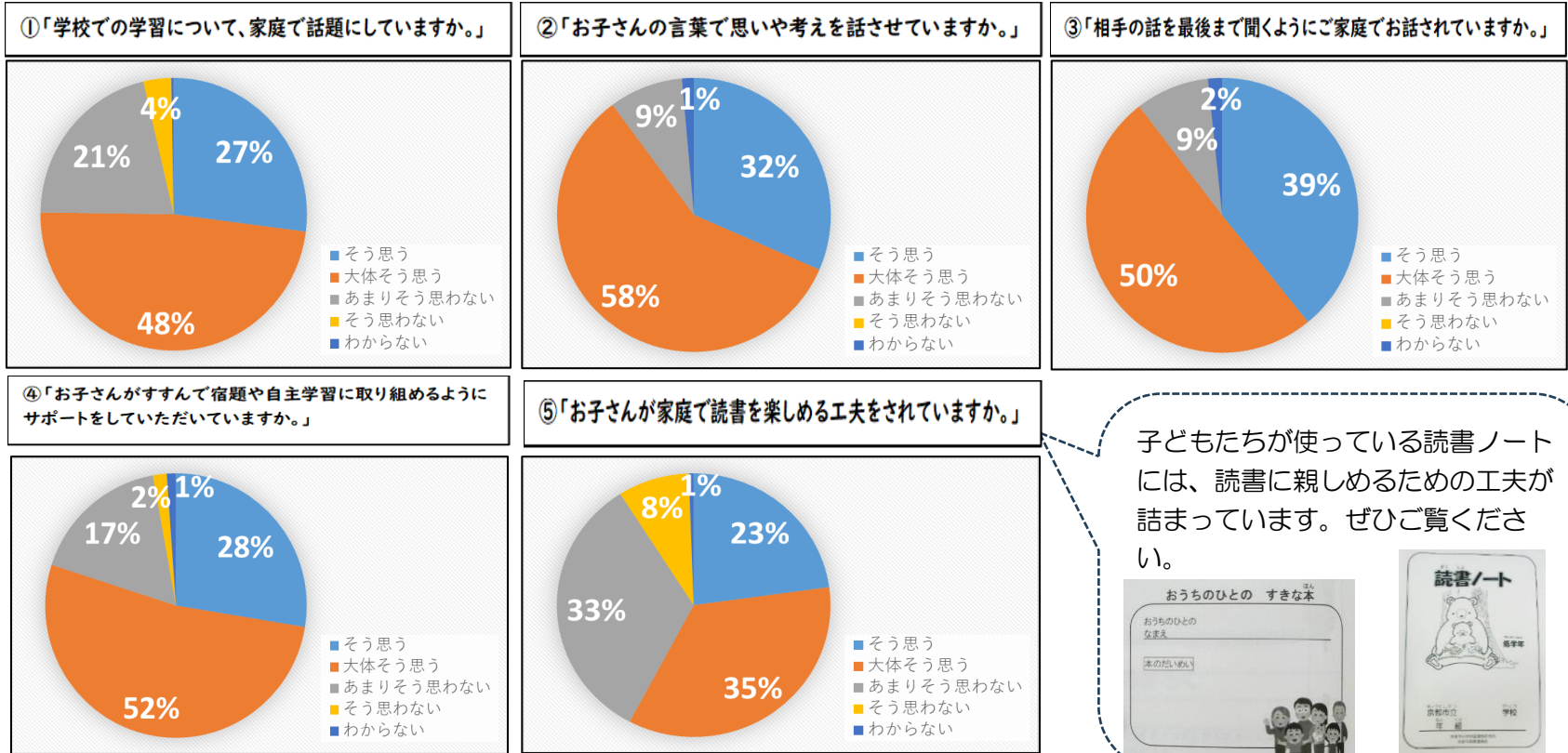
<読書習慣をつけるキーワード>

- ・毎日5分から始める読書
- ・好きな本で始める読書
- ・読書仲間と一緒に!楽しく読書

- ・読書ノートに記録でモチベーションアップ
- ・環境を整えて集中力を高める読書
- ・スキマ時間を活用した読書
- ・小さな目標設定で読書



保護者



成果

「学校での学習について、家庭で話題にしていますか」という質問に対して、「そう思う」と「大体そう思う」の回答が全体の約80%ありました。昨年度に引き続き、多くの家庭で学習について話題にしてくださっていることがわかります。学校と家庭の両方で子どもたちの良いところを認めながら学習意欲を伸ばしていきたいと考えています。

改善点

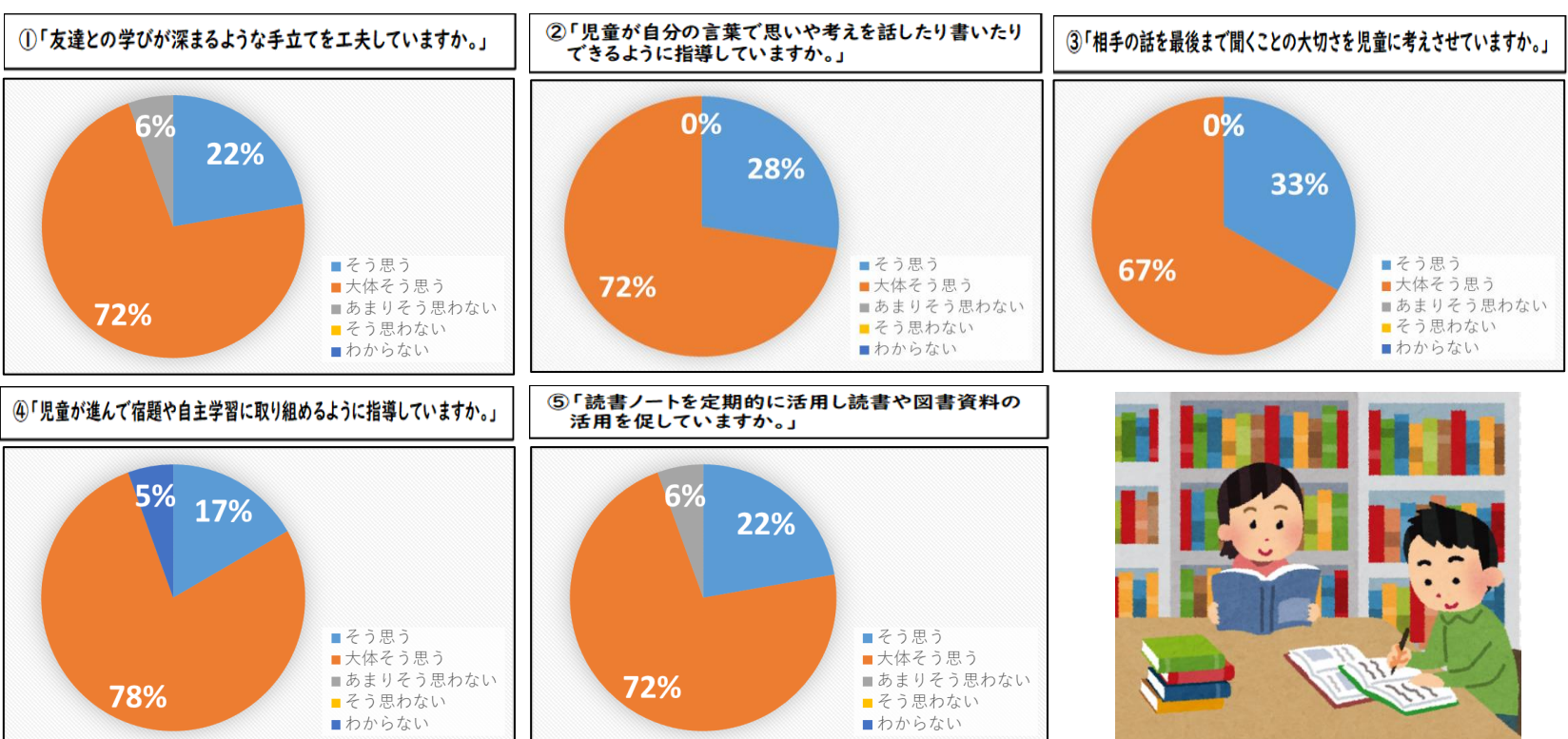
「お子さんが家庭で読書を楽しめる工夫をされていますか」という質問に対して、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の回答が全体の約50%ありました。読書習慣をつけるために大切なことの一つに環境づくりがあります。もし、子どもが本を手にするとき次のようなことに気をつけていただければ、すでに楽しめる工夫をいただいているということになります。【スマホが鳴らないようにしている/テレビを消している/家族も一緒に本を読む/家族の生活音を抑える/など】他にも本屋や公共図書館に行くなど、家族で本と親しむ時間につなげていただきたいと思います。



スマホを本に
持ちかえて…



教職員



改善点

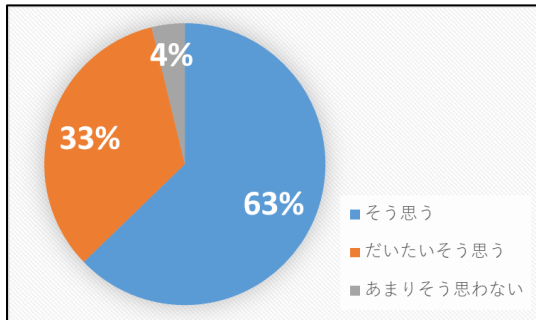
自分で学習を進めたり、意欲的に自主学習に取り組めるように図書資料を使って学習をしたりすることについては、改善していくべきところが見受けられます。特に、①の学びが深まる手立ての工夫や⑤の読書の取組について、「あまりそう思わない」教職員が一定数います。子どもたちの主体的な学習を進めるために、教員が自信をもって「そう思う」と答えられるように、良い取組をしている教職員同士の交流を活発にしたり、京都市の研修に参加したりして、教職員同士学び合いながら、今後も取り組んでいきます。

2. 「豊かな心」の育成に向けて

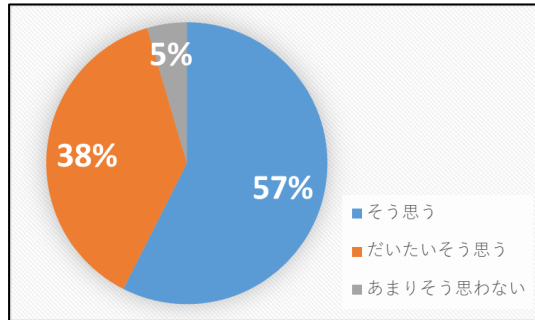
重点目標 規範意識の育成や道徳教育の充実を図り、支え合い高め合う集団をつくる。

児童

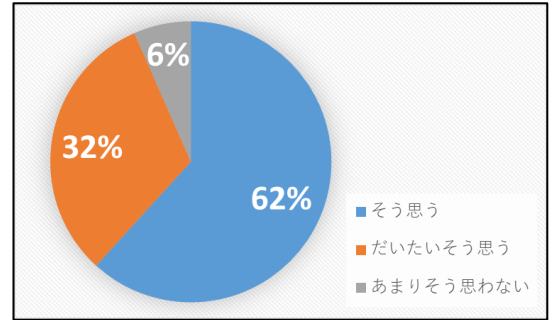
⑥「相手を見て、声を出してあいさつしていますか。」



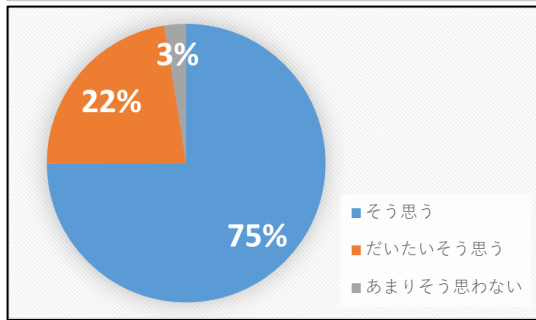
⑦「だれに対しても親切にしていますか。」



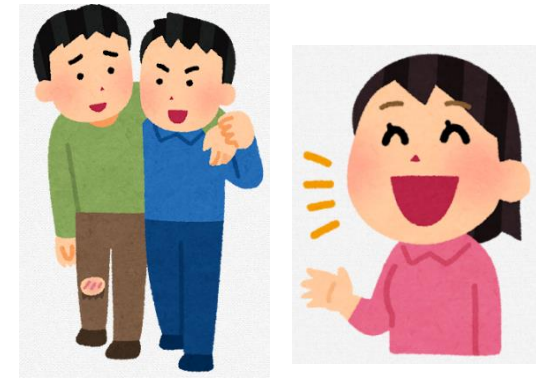
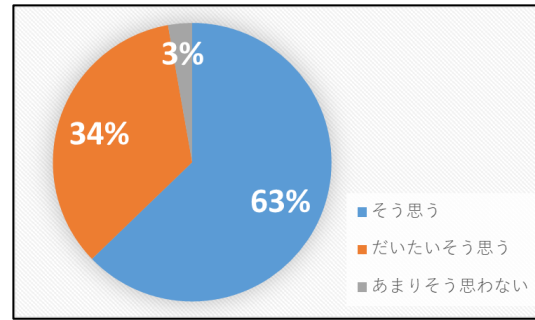
⑧「周りの人から大切にされていますか。」



⑨「学校のきまりや家庭のルールを守っていますか。」



⑩「スマイルデーや道徳、学級会などの学習で自分の考えをもっていますか。」



成果

⑥～⑩で90%以上の児童が「だいたいそう思う」「そう思う」と答えていて、ほとんどの項目で昨年度のポイントを上回る結果になりました。1年間積み上げてきたことがさらによりよい結果につながっています。特に⑩の項目が昨年度と比べて4ポイントも高かったです。自分の考えをもてる児童が増えてきていることは素晴らしいことです。

改善点

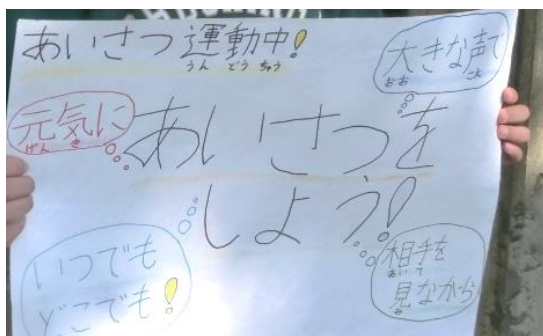
全体として肯定的な回答が多いことは喜ばしいことですが、一定数「あまりそう思わない」児童がいることは否定できません。学校はそれぞれの項目ですべての児童に伝わるよう意識していく必要があると考えています。これらの項目は、集団生活や社会生活をすすす上で、とても重要です。「素敵な挨拶ができる人になりたい」「誰に対しても親切にできる人になりたい」など、「なりたい自分」をもち、それに向かって自分から行動できる力をつけてほしいと思います。



たてわり遊び



全校のみんなで1年生の入学をお祝いした「1年生を迎える会」



おはようございます!

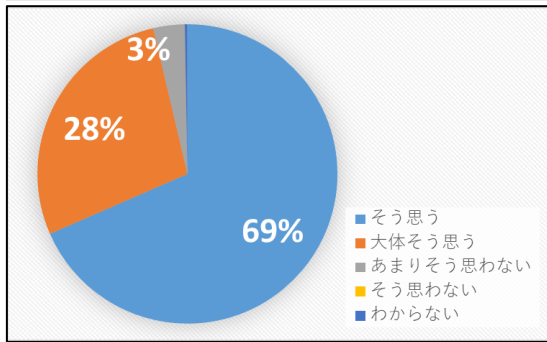
朝のあいさつ運動



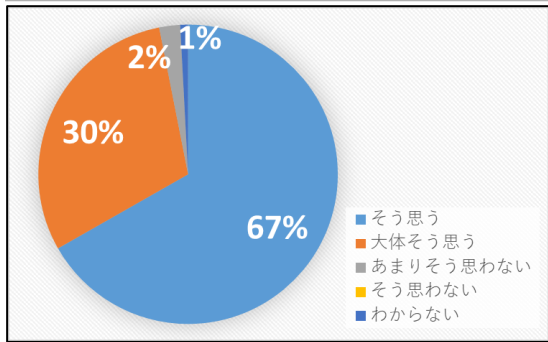
自分たちで学校をよりよくしていく代表委員会

保護者

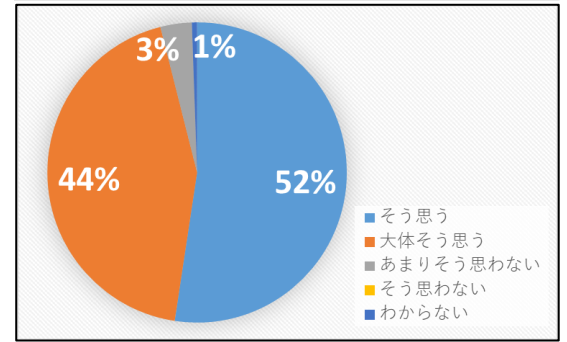
⑥「家庭で挨拶をするように働きかけていますか。」



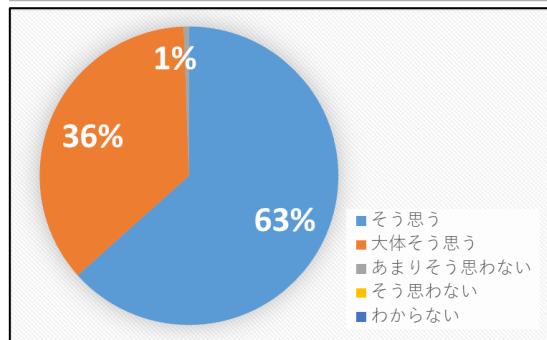
⑦「人に親切にすることの大切さをお話されていますか。」



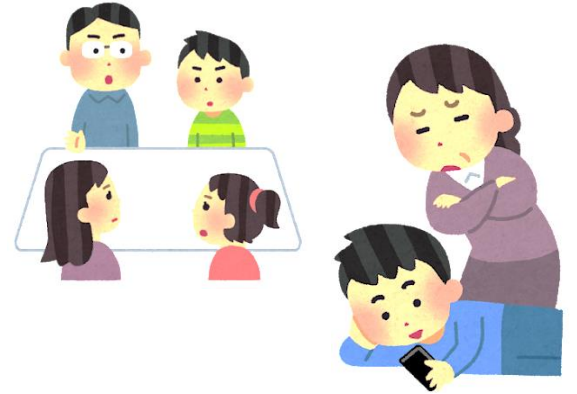
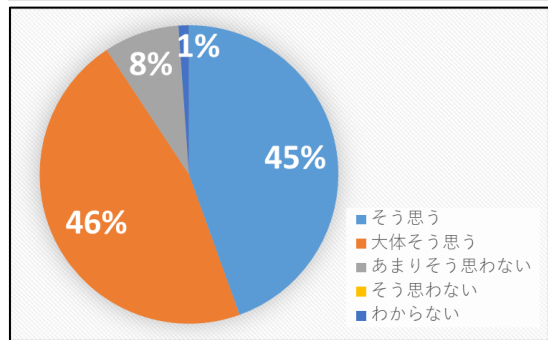
⑧「お子さんと関わる時間を大切にしていますか。」



⑨「家庭のルールや社会のルールを守るようにお話されていますか。」



⑩「お子さんが自分の考えをもてるようにお話されていますか。」

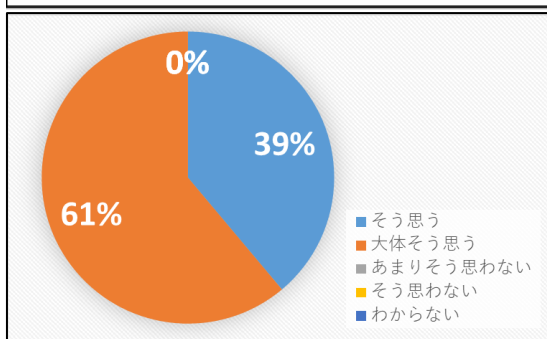


成果

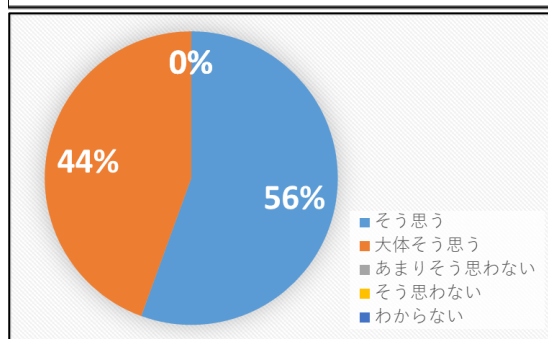
保護者の方が挨拶をすることやルールを守ることなど、社会生活を送る上で大切なことについて、しっかりと話をさせていただいていることがうかがえます。生活の中で規範意識や友達への思いやりの大切さを教えてくださっていることに改めて感謝いたします。子どもが小学生の間に十分に関わっていただきたいと思っています。今後もお忙しい中ですが、お子さんのためにできるだけ時間をとっていただけるとありがたいです。

教職員

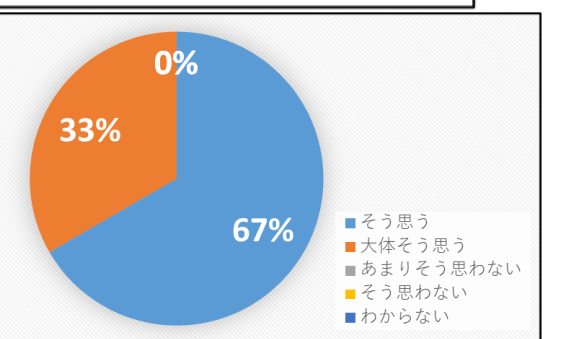
⑥「挨拶の良さについて考えさせていますか。」



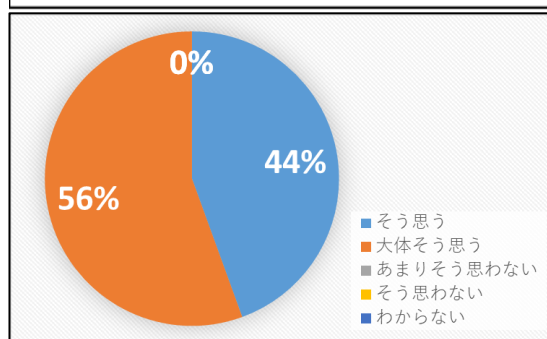
⑦「人に親切にすることの大切さに児童が気づくように指導していますか。」



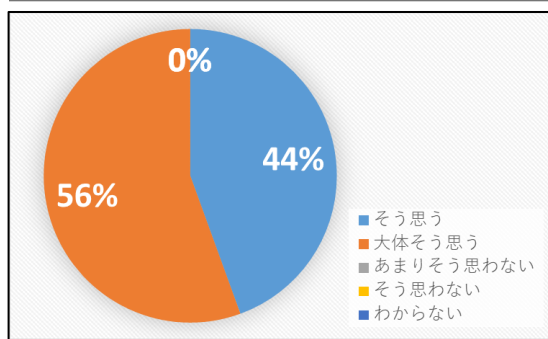
⑧「児童一人一人を大切にしていますか。」



⑨「学校のきまりや社会のルールを児童自身が考えられるように指導していますか。」



⑩「児童が自分の考えをもてるように指導していますか。」



成果と改善点

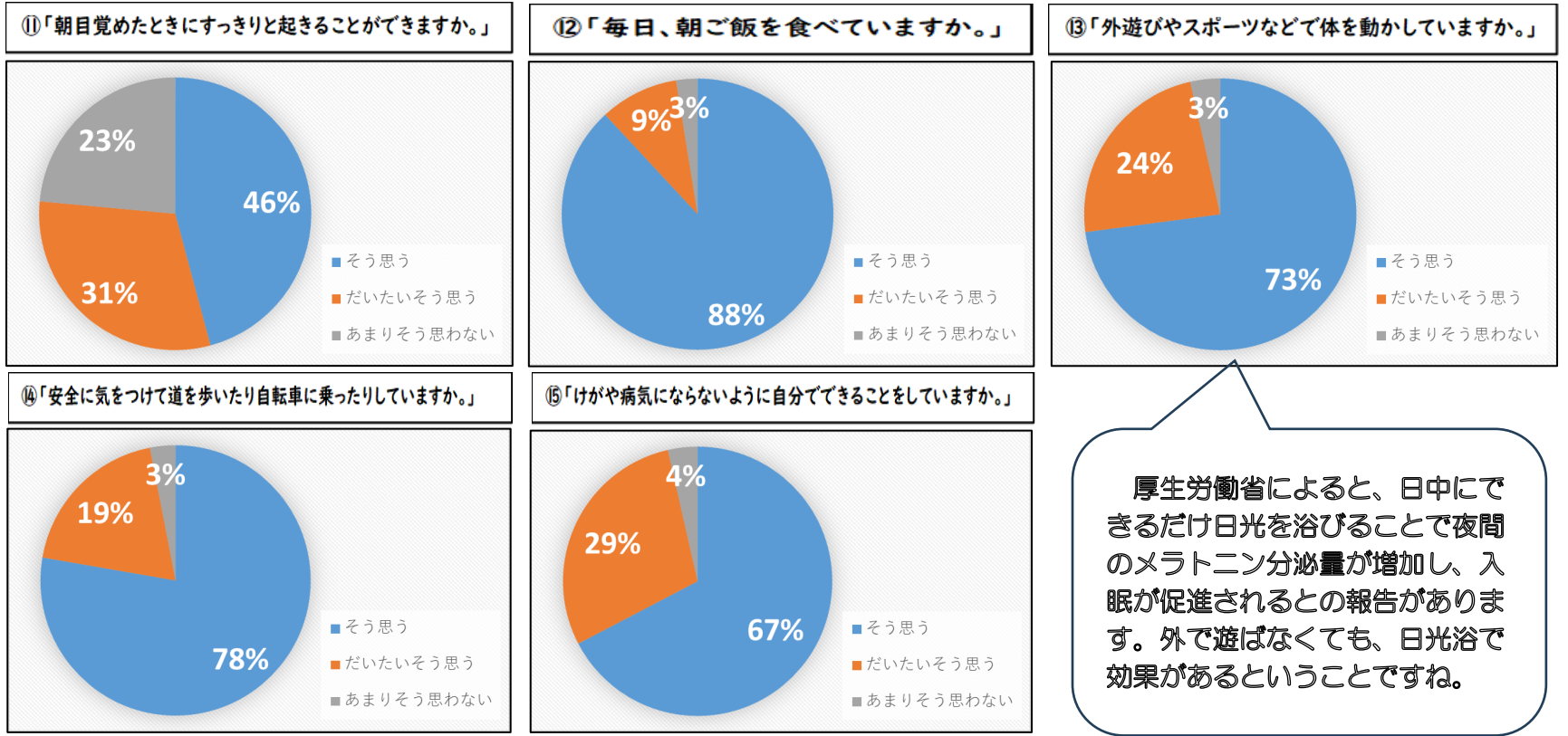
教職員は児童に対してあたたかい言葉づかいで人と関わるように指導しています。特に、あいさつをすることやルールを守ることについて、子どもたちが自分で意識して行動できるように考えさせています。出来ていないことばかりを指摘するのではなく、子どもたちが頑張っていたことや素敵な姿を紹介しています。

児童一人一人を大切にすることは、京都市の学校教育の理念となっています。教員が自信をもって「そう思う」と言いけるようにこれからも切磋琢磨していきたいと思います。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動の実践と体力の向上を図りながら、安全で健康的な生活を送る子を育成する。

児童



厚生労働省によると、日中にできるだけ日光を浴びることで夜間のメラトニン分泌量が増加し、入眠が促進されるとの報告があります。外で遊ばなくても、日光浴で効果があるということですね。

成果

②の毎日朝ごはんを食べている割合はとて高くなっています。長期休業あけに取り組んでいる朝食しらべでも、栄養を考えた朝食をとっていることがわかっています。また、③の外遊びについても多くの児童が休み時間や放課後に校庭で遊ぶことを楽しみにしています。多くの子どもが健康的に生活できていることがうかがえます。

改善点

朝、すっきりと目覚められていない児童が23%います。これは、寝る時刻が遅かったり、睡眠の質が良くなかったりすることが考えられます。就寝前にゲームをしたりスマホやテレビを見たりすることを控えることで睡眠の質が向上します。下校の歩き方や放課後の遊び方については少しずつ良くなってきていますが、まだまだ課題もあります。引き続き、子どもが自分の安全のため、宇多野の町に住む人みんなの安全のために気をつけるという意識をもてるように働きかけていきます。



4年生 自転車安全教室

休み時間の校庭
外遊びする子どもたち



生活しらべ

夏休み明け 生活調べ

学年 組 番 名前

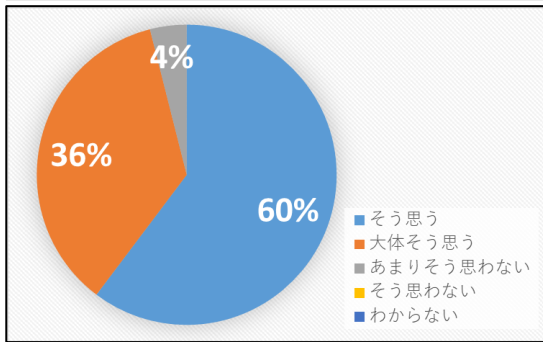
生活調べの目標		生活調べをふりかえって					
目標はできましたか		感想を書きましょう					おうちの方からひとこと
😊 できた 😞 できなかった 😞 できなかった							
き	テレビやゲーム・PC・タブレットなどの使った時間	見て(して)いない					朝ごはん調べ 6日(金)に食べた朝ごはんを全て書きましょう。 飲み物もふくみます。 例：ご飯、たまごやき、みそ汁(なす、わかめ)、きゅうにゅう、バナナ
		2時間まで					
の	おうちの人と学校の話をした	2時間以上					
	寝る前に、歯をみがいた。						
う	寝た時刻	9:00まで					
		9:00~9:30					
		9:30~10:00					
		10:00よりあと					
き	起きた時刻	7:00まで					
		7:00~7:30					
		7:30よりあと					
う	朝ごはんを食べた						
		顔を洗って、歯をみがいた					
		便が出た(きのうでもよい)					



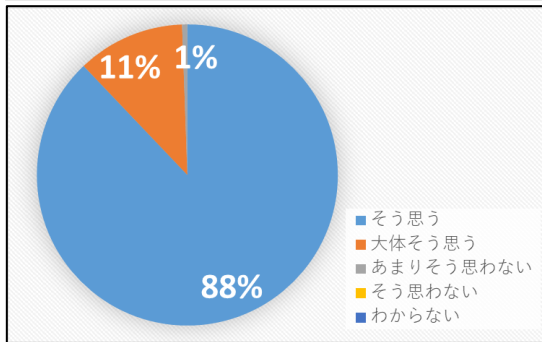
安全ノートを使った学習

保護者

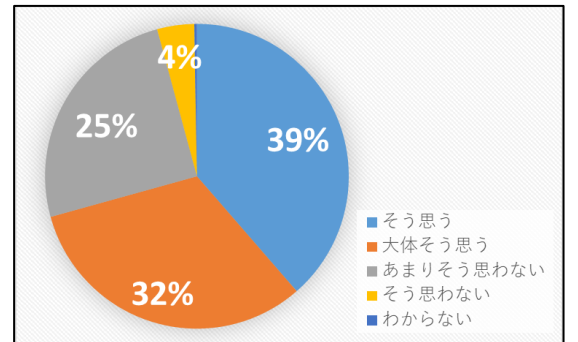
⑪「十分な睡眠時間が確保できるように時間の声かけをされていますか。」



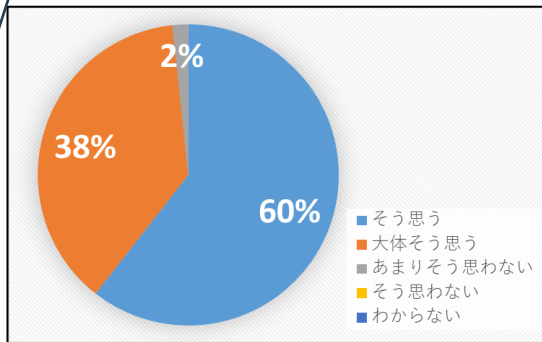
⑫「朝ご飯を食べる習慣をつけていますか。」



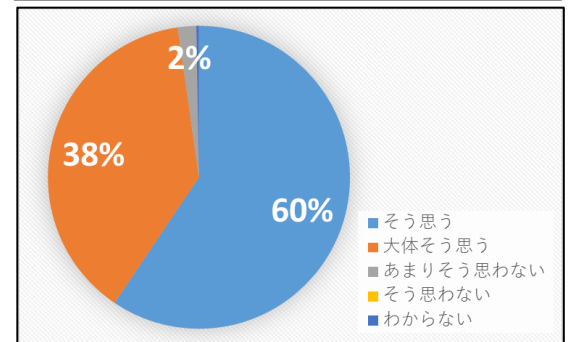
⑬「家庭で体を動かす習慣がありますか。」



⑭「安全な道の歩き方や自転車の乗り方ができるように声かけをされていますか。」



⑮「お子さんがけがや病気の予防ができるように声かけをされていますか。」



警察庁の調査によると、小学1年生の歩行中の交通事故者数は6年生の約2.9倍も高くなります。そして、事故の約3割は飛び出しが原因だそうです。学年が低いほど歩行中の、学年が高くなると自転車乗用中の割合が高くなるのが小学生の交通事故の特徴です。

成果

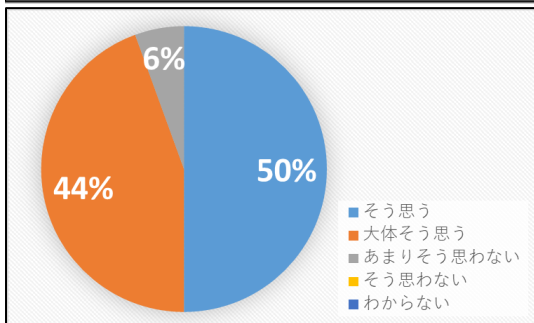
朝ごはんを食べる習慣をつけることは99%、⑭や⑮では98%、十分な睡眠時間が確保できるように時間の声かけをすることは96%と高く、保護者の方々がしっかりと働きかけてくださっています。子どもたちが安全で元気に過ごすことができるように、家庭で取り組んでいただいています。

改善点

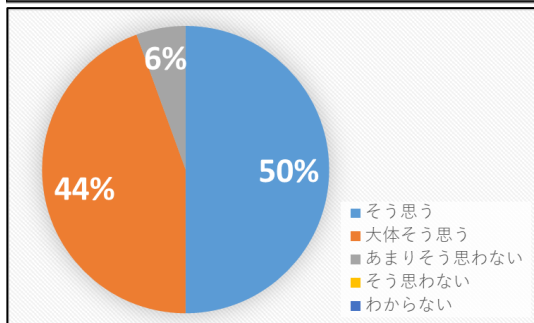
家庭で体を動かす習慣については、あまり習慣がないという方が25%おられます。体を動かすことは児童の健全な成長には欠かせません。例えば、お子さんと一緒に遊んだり、休日に散歩に行ったりするなど身近なことから取り組んでいただければと思います。

教職員

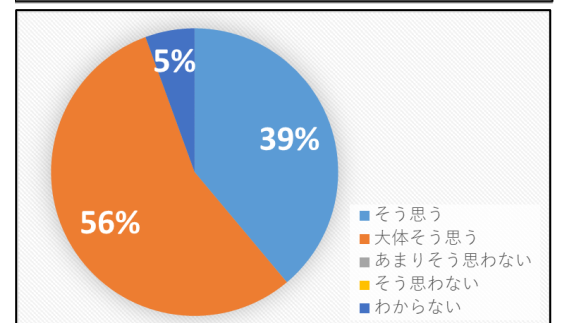
⑪「睡眠をしっかり取る良さを児童に考えさせていますか。」



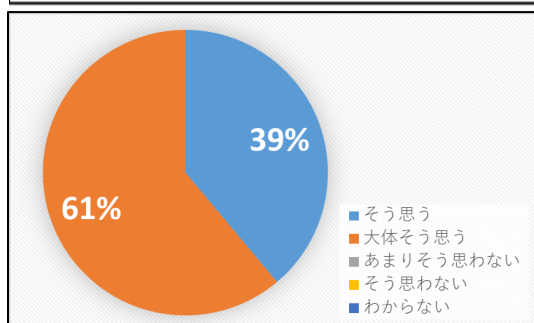
⑫「朝食をとる良さを児童に考えさせていますか。」



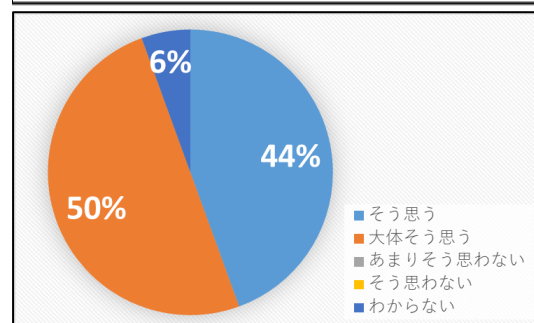
⑬「児童が楽しく体を動かせるように手立てを工夫していますか。」



⑭「安全な登下校ができるように児童に考えさせていますか。」



⑮「児童が自分でけがや病気の予防ができるように指導していますか。」



町別児童会で安全な登下校の仕方を話し合います。



成果

教職員も、児童が安全で健康的な生活を送ることができるように、学活や保健指導の中で働きかけています。児童同士で考えるために保健委員会でも取り組んでいます。また、安全な登下校ができるように児童に考えさせることについては、安全ノートを使った指導や町別集会などがあります。そこで地域委員の方にお話をいただいたり、教職員と一緒に下校して指導したりするなど、いろいろな形で子どもたちに伝えています。

改善点

朝の登校指導をはじめ、これからも安全な道の歩き方や安全な自転車の乗り方についても引き続き指導を続けていきます。子どもたちが自分で考える機会をつくり、よりよい生活習慣を身に着けられるように、ご家庭と連携しながら取り組んでいきます。

本アンケート結果を学校運営協議会で報告させていただきました。その中で貴重なご意見をいただきましたので、紹介させていただきます。

<地域の皆様より>

- 23%の子どもたちが「朝目覚めたときにすっきりと起きることができますか。」の項目で否定的な回答をしている。夜遅くまで起きている子どもたちが多くなっていないか心配である。低学年は9時頃に、高学年でも10時半には寝る習慣を維持してもらいたい。
- 子どもたちのスマホの使い方が心配である。動画、ゲーム等で使用時間が長くなったり、SNSでトラブルが起こったりしていないだろうか。学校でも適切な使い方を指導していくとともに、身近な大人がお手本となって、子どもたちにより使い方を見せられるようになってほしい。
- 各項目で、「あまりできていない」と回答している児童が少数いるので、大人が見過ごさずに関わってほしい。

「早寝・早起き」ではなく、その発想を逆転させてください！

「早寝・早起き」ではなく「早起き・早寝」から始めましょう。まず1週間、頑張って早起きをさせましょう。そしてカーテンを開け、外に出て太陽の光を浴びる。それが無理なら窓辺で顔を外に向けるのでも結構です。お日様に向かって体内時計の時刻合わせをしましょう。1~2週間ほど続けると子どもたちの体内時計は徐々に朝型に変わり、早起きの辛さは減ってきます。早起きさせた分、夜眠くなり、入眠時刻も早まります。そのリズムができてきたら、初めの睡眠不足は取り返せるでしょう。今日から合言葉は「早起き・早寝」で行きましょう。

(参考)「厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト」

保護者はスマホやタブレット端末の管理を。学校は情報モラル教育を。

文部科学省のウェブサイトにも小学校1年生から学びたいものを自由に選んで学べる学習サイトがあります。何から始めれば良いかわからないときの「コンテンツ診断」も出来ます。一度アクセスして、冬休みに親子で情報モラル学習をしてみたいかがででしょうか。

じょうほう がくしゅう
情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな?～

- 情報モラルとは、みなさんが情報社会の中で上手に生きていくために必要な考え方や態度のことです。
- このサイトでは、写真やイラスト、動画を見ながら約3つの問題に挑戦することで、情報モラルについて学ぶことができます。
- 活用場面ごとに、いろいろな問題に挑戦することができます。それぞれ約5分～10分で学習できます。
- 小学校1年生～高校3年生が対象です。推奨学年にこだわらず、学びたいものを自由に学んでみましょう。

タブレットを初めて使う

インターネットを活用する

情報を発信する

オンラインで交流する

作品を作る

マナーを守って使う

健康に気を付けて使う

SNSなどを使う

情報を確かめる

「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という市の教育理念の実践を。

後期のアンケートもご協力よろしくお願ひします！